

セーフコミュニティ年間活動報告書

本レポートは、毎年、認証された「月」の末日までに提出してください。

| | |
|---------|--------------|
| コミュニティ名 | 横浜市栄区 |
| 認証年月日 | 2013年 10月 5日 |
| 報告提出日 | 2020年 11月20日 |

〔報告書担当者〕 ※本報告書に関する問い合わせ等に対応できる方

| | |
|------------|----------------------------|
| よみがな 名前 | ながまつ ひろし 永松 弘至 |
| 所属（肩書き） | 横浜市栄区役所総務部区政推進課長 |
| 電話番号 | 045-894-8161 |
| E-mailアドレス | sa-kikaku@city.yokohama.jp |

指標 1 分野横断的な協働の仕組み

1-1. 過去1年に、セーフコミュニティ推進協議会等のSCの方向性を決定する組織および対策委員会等の重点課題に対する取組を推進する組織において大きな変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」と答えた場合は、変更点について詳細を記載してください。

例) これまで主な協働関係にあった方（組織）で担当でなくなった方や関係を解消した組織、あるいは新たに推進組織に加わった方（組織）など

| |
|--|
| |
|--|

1-2. 推進組織メンバーリストを添付してください・・・・・・・・・・ [添付1]

リストには下記の項目を設定してください。

| 氏 名 | 所 属 | 肩書き | 備考 |
|-----|-----|-----|----|
| | | | |

1-3. 推進組織（SC推進協議会）は、この1年間で何回開催しましたか？

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

| 会議名 | 開催日 | 主な議題 | 備考 |
|------------------------------|----------------|----------------------------------|----|
| 栄区セーフ コミュニティ 推進協 議会 | 2019年 4月26日 | 1 セーフコミュニティ現地審査・再認証式典について | |
| | | 2 セーフコミュニティアンケートの集計結果について | |
| | | 3 2019年度セーフコミュニティ活動について | |
| | | 4 2019年度セーフコミュニティ事業プロモーション活動について | |
| | | 5 2018年度の栄区セーフコミュニティ活動について | |

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付2〕

1-4. 対策委員会委員のリストを添付してください。・・・・・・〔添付3〕

リストには下記の項目を設定してください。

| 対策委員会名 | 氏名 | 所属 | 備考 |
|--------|----|----|-----|
| | | | 会長 |
| | | | 副会長 |
| | | | |
| | | | |

※ 対象者やプログラムの数に応じて、上記の表をコピーして活用してください

1-5. 過去1年間で何回対策委員会を開催しましたか？会議名・開催日・議題について示してください。

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

| 対策委員会名 | 開催日 | 主な議題 | 備考 |
|----------|-------------|---|----|
| こども安全対策 | 2019年9月18日 | 分科会の取組について、KYTミニ体験 他 | |
| | 2019年2月20日 | 子どもの事故予防に関するアンケート結果の報告、来年度の取組について他 | |
| スポーツ安全対策 | 2019年6月27日 | 2019年度の分科会活動について、分科会企画講習会の開催について、啓発物品の作成と活用について、分科会だよりの発行について 他 | |
| 交通安全対策 | 2019年4月18日 | 活動計画、スクールゾーン対策協議会の対応状況について 他 | |
| | 2019年9月4日 | 交通事故発生状況について 他 | |
| | 2019年11月14日 | 啓発物品購入、小学校「学援隊（登下校見守りボランティア）」アンケート実施、自転車ヘルメット着用率アンケート結果 他 | |
| | 2020年2月7日 | 児童登下校時の見守り活動アンケート結果、自転車用ヘルメット着用啓発チラシの作成・配布 他 | |
| 児童虐待予防対策 | 2019年5月7日 | 今年度の活動について 他 | |
| | 2019年7月23日 | 啓発活動について、今後の活動について検討 他 | |
| | 2019年9月25日 | 啓発活動の状況、赤ちゃんふれあい体験実施結果共有 他 | |
| | 2019年11月29日 | 啓発活動の状況、区民まつり活動振り返り 他 | |
| | 2020年1月29日 | 啓発活動の状況、いのちの授業について 他 | |

| | | | |
|-----------|--|--|--|
| 高齢者安全対策 | 2019年6月6日 2019年10月18日 2020年2月18日 | 2019年度の取組について、転倒予防アンケート集計結果報告 他 ヒートショック対策・転倒予防対策に関する取組について、取組指標の変更について 他 今年度の活動振り返り及び来年度に向けた課題について 他 | |
| 災害安全対策 | 2019年5月17日 2019年12月6日 | 地域防災拠点訓練実施状況について、セーフコミュニティ災害安全対策分科会からの提案について 他 地域防災拠点訓練実施状況報告、トイレパットの配布について、家具転倒防止の啓発について、地域防災拠点の看板設置について 他 | |
| 自殺予防対策 | 2019年9月10日 2020年3月19日 | 前年度の栄区の取組、今年度の栄区の取組について、今後の進め方 他 来年度の計画について 他 | |
| 防犯対策 | 2019年8月6日 2020年2月21日 | 広報よこはま栄区版10月号特集について、振り込め詐欺に関するアンケートの結果について、合同パトロールについて 他 各団体における取組の報告、振り込め詐欺に関するアンケートについて 他 | |
| 傷害サーベイランス | 2019年8月2日 2020年3月23日 | 各分科会の活動方針、各分科会活動分野の現状分析について 他 2019年度事業報告、栄区民意調査結果について、2020年度事業計画及び再々認証取得までのスケジュールについて 他 (資料配付のみ) | |

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付4〕

1-6. 過去1年間の財政マネジメントにおいて変化がありましたか？（資金調達方法など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

1-7. 次の1年間の財政計画について述べてください。

・セーフコミュニティ事業 6,230千円（2020年度予算額）
（内訳）取組の推進：3,430千円、プロモーション：1,500千円 フォーラム：1,300千円

1-8. 過去1年間で（対策委員会等の事務局ではなく、SC活動全体を担う）事務局機能において変更がありましたか？（事務局スタッフの変更や規模の変更など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

事務局スタッフの変更：2018年4月1日付の人事異動に伴い以下の職員が着任しました。
栄区区政推進課長：永松弘至 栄区区政推進課地域力推進担当係長：高橋百合子

指標2 プログラムの包括性・持続性

2-1. 過去1年間で、全ての住民（全年齢・両性別）あらゆる環境や状況をカバーするための取組において変更がありましたか？（報告書に記載した取組において変更や追加等がありましたか）

はい いいえ

※「はい」と答えた場合、それは下記のマトリックスのどの領域ですか？

| | | 子ども (0～14歳) | 青年 (15～24歳) | 成人 (25～64歳) | 高齢者 (65歳～) |
|-------|---------------|----------------|----------------|----------------|---------------|
| 不慮の要因 | 家庭の安全 | 例) ①〇〇プログラム | | | |
| | 学校の安全 | | | | |
| | 職場の安全 | | | | |
| | 余暇・スポーツの安全 | | | | |
| | 公共の安全 交通安全 | | | | |
| | 自然災害 | | | | |
| 意図的要 | 暴力 (DV, 虐待含) | | | | |
| | 自傷・自死 | | | | |

変更した内容について説明してください。

2-2. 過去1年間で重点的な領域・課題（項目）・対策委員会等において変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

例) 重点項目、政策、政治、個人、資金などにおける変化及びそれによってどのように協働や継続性、成果などに成果があったのか、など

2-3. その他、コミュニティの特性を生かした取組について、その進展について記載してください。

例) モデル地区の取組など

指標3 ハイリスクグループおよび環境に対する取組

3-1. 過去1年間で、ハイリスクの集団・環境・状況に変更等がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、具体的にその詳細を記載してください。

3-2. 過去1年間において、各ハイリスクグループや環境に対してどのような取組を展開しましたか？

その内容と取り組みの成果について記載してください。

※ 対象者やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

| ハイリスク対象 | 取組内容 | 成果 |
|---------|--|----|
| | <div style="border: 1px solid black; background-color: #d9e1f2; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>別紙 指標3・4のとおり</p> </div> | |
| | | |
| | | |

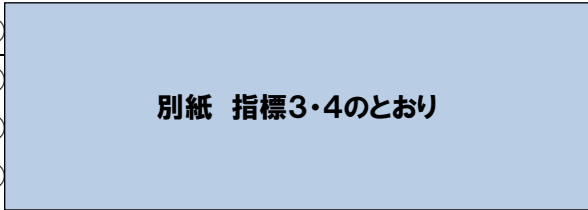
指標4 根拠に基づいた取組

4-1. 対策委員会の取組等根拠に基づいた取組の推進状況について記載してください

※対策委員会やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

〔対策委員会名： 〕

| 課題1 | | |
|--------|--|---------|
| プログラム | 対策内容（この1年間で変更した点は「赤字」で） | 過去1年の実績 |
| プログラム1 | ①実施者・協働者 ②対象 ③実施内容 ④ | |
| プログラム2 | ① ② ③ ④過去一年間の改善点 | |
| プログラム3 | ①実施者・協働者 ②対象 ③実施内容 ④過去一年間の改善点 | |



4-2. 過去1年間で対策委員会を新たに設置したり取組みを開始した場合、その根拠を示してください。

| |
|--|
| |
|--|

4-3. 過去1年間の取組みのなかで最も成功した事例を少なくとも3つあげてください。

例) その取り組みによってパートナーシップや他の組織との関係が強化された、財源をより確保できた、あるいは得られたアウトカム（成果）など

《こども安全対策分科会》

「安全安心な地域である」と感じている子どもの割合は、小学生（90.1%）・中学生（78.8%）ともに、前年度に比べて増加し、さらに高水準を保っている。

《スポーツ安全対策分科会》

専門家を交えたより効果的な取組として、慶應義塾大学スポーツ医学研究センターに対し、分科会が2017年度に実施したアンケートの分析及び分析結果等に基づいた運動中のけがや事故防止のための提案業務を委託した。その提案内容を広く区民へ周知するため、講演会を実施した。

《交通安全対策分科会》

区内全市立小学校にアンケート調査を実施して、児童登下校時の見守り活動の実情を把握するこ

とができた。

《児童虐待予防対策分科会》

地域や関係機関の理解が進み、地域住民や関係機関から深刻な虐待に至る前の早期の段階での相談や通告が増えている。

《高齢者安全対策分科会》

中期的指標である「転倒予防体操講座等の参加者数」が前年度に比べて大幅に増加した。

啓発先の新規開拓とともに、既存の介護予防活動グループへの働きかけを強化した結果、一部のグループで定例の活動の中に取り入れてもらうことができたことが理由として挙げられる。

《災害安全対策分科会》

地域防災拠点の場所を知っている区民の割合は、防災マップや啓発物品配布などの啓発の結果、年々上昇している。

《自殺予防対策分科会》

自殺リスク者向けの支援ツール（カード、リーフレット、パンフレット）を活用し、区内の医療機関、福祉関係機関、行政機関で協働してリスク者への相談支援を続けることができている。

《防犯対策分科会》

振り込め詐欺防止のための啓発物品を作成し、自治会町内会や区民まつりで配布するなど広く啓発する事ができた。

指標5 外傷サーベイランス

5-1. 報告書で示した計画通りに外傷データの分析を行いましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、そのデータの入手先、分析の方法・内容、分析結果の活用方法を記載してください。

- ・救急搬送データ（横浜市消防局）
【こども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会、高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】
 - ・セーフコミュニティアンケートまたは栄区民意識調査（栄区）【全ての分科会】
 - ・人口動態調査（厚生労働省）【高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】
 - ・学校アンケート（栄区）【こども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会】
 - ・交通事故統計データ（栄警察署）【交通安全対策分科会】
 - ・災害共済給付オンライン請求システムの学校安全情報（独立行政法人日本スポーツ振興センター）
【こども安全対策分科会】
 - ・児童虐待対応件数（横浜市こども青少年局）【児童虐待予防対策分科会】
 - ・介護保険認定データ（横浜市健康福祉局）【高齢者安全対策分科会】
- それぞれ、各分科会の事務局分析、傷害サーベイランス分科会での分析に活用した。

5-2. 来年に向けて、外傷データの分析における課題や改善点すべきはありますか？

はい いいえ

※「はい」の場合、その詳細について具体的に記載してください。

今後の課題

- ・分析に必要な外傷データについて、横浜市全体については把握できているものでも、栄区独自では把握できていないものがある。調査方法や規模を含め、継続的なデータ収集方法について改善する必要がある。
- ・一部の分科会では、死亡だけではなく中等症のけがまで集計し分析すると、より効果的な取組の検討に繋げることができる。
- ・ヒヤリハットなど救急搬送データ等からは把握が難しい外傷について、把握・分析する仕組みを検討する。
- ・一部の分科会において、人口構成の変化等から、指標としているデータの見直しを検討する必要がある。（例：65歳以上の救急搬送件数を、人口一人当たりの件数にする）

指標6 取組のアセスメント

6-1. 過去1年間のアセスメントを行いましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、評価の簡単な概要、どのように評価が取組の改善等に反映されているか、などの情報を示してください。また、関連する資料があれば添付してください。・・・・・・ [添付5]

- ・各取組の活動実績及び活動指標による評価
- ・傷害サーベイランス分科会委員による各分科会の取組への評価・助言

※「いいえ」の場合、その理由を述べてください

6-2. 対策委員会による取組のアセスメントについて

各対策委員会が進めている取組の評価について述べてください。

※対策委員会やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

※「評価指標」については、報告書と一致させてください。変更した場合は、変更点がわかるように赤字で記載してください

[対策委員会：]

| 対策名 | 短期評価 (意識・知識) | 中期評価 (態度・行動) | 長期評価 (外傷数等状況) |
|-----|-------------------|-----------------|------------------|
| | 別紙 指標6のとおり | | |
| | | | |

指標7 SCネットワーク（経験や知識の共有）

7-1. 過去1年間、次のネットワーク等に参加・貢献しましたか？

- a) 国際的なSCネットワークへの参加・貢献 → はい いいえ
- b) 国内のSCネットワークへの参加・貢献 → はい いいえ
- c) アジア地域のSCに関する行事等・貢献 → はい いいえ

※「はい」と答えた場合、その内容について概要を記載してください。

b) 国内ネットワーク

| | | |
|----------------|--------------------------|----|
| 2019年7月11日・12日 | JISC担当者研修会 | 参加 |
| 7月25日・26日 | さいたま市現地審査 | 視察 |
| 7月25日 | 全国セーフコミュニティ推進自治体ネットワーク会議 | 参加 |
| 11月7日 | 秩父市事前指導 | 視察 |
| 10月9日～11日 | 十和田市現地審査 | 視察 |
| 10月24日・25日 | 鹿児島市事前指導 | 視察 |
| 10月28日・29日 | 厚木市事前指導 | 視察 |
| 11月20日 | さいたま市認証式典 | 参加 |
| 2020年2月22日 | 十和田市認証式典 | 参加 |
| 2月23日 | 日本セーフコミュニティ定例会 | 参加 |

7-2. 過去1年間、住民に対して行ったフィードバックについて記載してください

例) 取組の進捗状況、成果等に関する報告など

《催事の実施または出展》

- ・10月5日に栄公会堂で、関係者及び一般区民を対象としたイベント「さかえセーフコミュニティフォーラム」を開催した。内容は防災対策を楽しみながら学べる落語や、セーフコミュニティ・シニア(上席)サポーター倉持隆雄氏による講演、地域のダンスグループによるパフォーマンス等で、当日は約200名が参加した。
- ・「栄区民まつり」に出展し、パネル展示と参加型のクイズ企画等を実施。小・中学生とその保護者を中心に多数の参加があった。

《区の広報媒体を活用した取組紹介》

- ・広報よこはま栄区版に分科会の取組を紹介したコラム「タッチーくんのセーフコミュニティ講座」を隔月掲載した。また、9月号では特集記事「さかえの地域力で安全・安心なまちづくり」を掲載し、分科会の取組を根拠となるデータを交えて紹介した。
- ・認証を取得した10月を「セーフコミュニティ推進月間」と定めており、図書館でのセーフコミュニティパネル展を実施した。

- ・ケーブルテレビ番組「栄区なうTV」でセーフコミュニティフォーラムの様子を中心に、分科会委員による活動紹介等を映像により発信した。

《学校及び区民利用施設と連携した取組》

- ・区内の市立小中学校（20校）、及び住民にとって身近な公共施設に対し、セーフコミュニティの取組の効果をデータで分かりやすく示したポスターを配布し、掲示した。

《研修・説明等の取組》

- ・地域の連合町内会長が集まる区連会等の会議や、新任自治会町内会研修などの各種研修において、セーフコミュニティの活動について説明・情報提供
- ・区内の中学校より依頼を受け、授業でセーフコミュニティの活動について紹介

《その他各種刊行物やチラシ等への取組掲載》

- ・SAKAE早わかりノート（統計資料）
- ・区民生活マップ
- ・自治会町内会マップ

8. その他

8-1. この1年間でもっとも積極的に取組んだ活動は何ですか。取組みの経緯・経過を含めて説明してください。

《分科会活動分野及び対象の現状分析と連携の模索》

2018年の現地審査で審査員から指摘のあった「分科会間の連携した取組実施」について、現在の各分科会の取組の分野や対象者を分析するため、マトリクスによる一覧表を作成。分科会事務局及びサーベイランス分科会委員と共有した。更に分科会事務局に対しヒアリングを実施し、今後の分科会同士の連携の可能性を具体的に検討した。

《プロモーション活動》

区民を対象にしたアンケートの結果、現役世代のセーフコミュニティに対する認知度が低いことから、「さかえセーフコミュニティフォーラム」や「栄区民まつり」では子どもの来場を促すよう風船の配布やクイズ等のプログラムを導入し、子育て世代への訴求を図った。

毎年実施している広報誌のコラムでは、区民がセーフコミュニティの取組をより身近に感じられるよう、分科会の活動を具体的に紹介した。

また、新任の自治会・町内会長への研修や、中学校及び大学での講義等により、まだセーフコミュニティに詳しくない層に対して、その定義や栄区の取組について紹介した。

8-2. 最後に、SC活動およびSCネットワークについて自由にお書きください。

セーフコミュニティの仕組みを取り入れることにより、住民と関係機関や行政が一体感を持ってまちづくりに取り組むことができている。また、前年度の再認証取得を活動の自信としながら、現地審査での審査員からの助言を活かし、新たな活動につながる一年となった。

添付資料

次の資料が添付されていることを確認したうえで提出してください。

※ 添付したものは「□」を塗りつぶしてください。

■添付1：推進協議会メンバーのリスト

■添付2：推進協議会の「次第」「出席者リスト」「議事録」

■添付3：対策委員会メンバーのリスト

■添付4：各対策委員会の「次第」「出席者リスト」「議事録」

□添付5：アセスメントに関する資料

■添付6：市民へのフィードバックに関する資料

■資料（別紙）：指標3・4 対策委員会の取組について等

■資料（別紙）：指標6 対策委員会による取組のアセスメントについて

本レポートは、「ワードファイル」で、認証月の末日までに 支援センターに提出してください。
添付書類については、どの項目に対する添付資料かわかるようにしてご提出ください。